

# 卯月俳句・短歌集

## 城辺俳句会

満天を仰げば天守寒昂  
枯れ土手に先ず水仙の立ちてあり  
浦風にタンゴを踊る葱坊主  
寒四郎海突き破る日の出かな  
薄闇や俯して茶の花二つ三つ  
白魚のきらめき銀の針のごと  
にぎやかに蕾をつけて枝垂梅  
春浅し途切れ途切れに戦友歌  
水棹さす親子あうんの白魚漁  
(3月7日に亡くなられた倉田美津枝さんの作品です。)

大浜 幸子  
増本 薫  
松本 種夫  
加納 幸子  
出口 恵子  
宮田志賀子  
山田 静恵  
倉田美津枝  
大和田いそ子  
百代  
拈  
撫子

男にも事情のありてニユーハーフ  
男気を出してふところ火の車  
武者者だけど気立てはいい男  
やり遂げた男の涙美しい  
女には言えぬ男の道を行く  
宝塚女が磨く男ぶり  
男達神輿かついで汗を拭く  
男の子泣いたら駄目と育てられ  
男にも育児休暇の制度あり  
あらためて男を試す向い風  
典方  
あき子  
玉子  
暁  
律子  
一会  
佐賀  
栄華  
能子  
トクエ

新しくの葉短歌会(なすな)  
ころころと瀬音のはづむ川べりに猫柳の穂光るがにゆるる  
亡き母の愛でゐし白き山茶花の満開となり今日五十回忌  
起きぬけに乾布摩擦をすることに慣れてふた月風邪ひかず過ぐ  
水仙の甘い香りの漂ひて気分清しく雑草抜きゆく  
宙を舞う十五歳の少年(歩夢くん) 勇姿に見入る日に幾度も  
朝一番「おめでとう」と夫の声六十八歳吾が誕生日

吉田 信保  
藤森多摩子  
松比良スミ子  
高橋千代子  
宮下喜久子  
河上 明美

## はじめまして。赤ちゃん。

2月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

2月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。